

令和5年度 文部科学省「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」

令和6年度 文部科学省「よりよい生き方を実践する力を育む道德教育の推進事業」

令和5・6年度 熊本県教育委員会指定、津奈木町教育委員会指定「道德教育研究推進校事業」

## 研究主題

# 体験活動を基に、よりよい生き方を探る道德教育の推進 ～道德科における「主体的・対話的で深い学び」の実現を通して～

交通安全教室(小学校)



サラダ玉ねぎ収穫(小学校)



町探検(小学校)



道德科授業風景  
(中学校)



道德科授業風景  
(小学校)



子ども議会(中学校)



寒漬大根販売(中学校)



町教職員道德教育研修会

本小・中学校は、標記の指定を受け2年目の研究に取り組んで参りました。昨年度の研究を引き継ぎ、今年度は「道德科における『主体的・対話的で深い学び』の実現を通して」を研究主題に授業を積み重ねてきました。主体的に考えを交流する児童生徒の姿や小・中学校が連携して授業力向上に努める職員の姿から、本研究の手応えを感じているところです。

本リーフレットは、昨年度からの本小・中学校の道德教育実践をまとめたものです。ぜひ、ご覧いただき、ご指導ご助言をいただきますようお願い申し上げます。



令和6年11月21日(木)  
津奈木町立津奈木小学校  
津奈木町立津奈木中学校



## 研究の構想図

### 【学校教育目標】

(小学校) やさしく かしこく たくましい児童の育成  
(中学校) 夢実現に粘り強く挑戦する生徒

### 小・中学校の道徳教育の重点目標

○思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めることができる児童生徒

小【B(6)親切, 思いやり】  
【B(7)感謝】  
中【B(6)思いやり, 感謝】

○勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献することができる児童生徒

小【C(14)勤労, 公共の精神】  
中【C(13)勤労】

○郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めることができる児童生徒

小【C(17)伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】  
中【C(16)郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】

### 研究主題

体験活動を基に、よりよい生き方を探る道徳教育の推進  
～道徳科における「主体的・対話的で深い学び」の実現を通して～

### 【研究の仮説】

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」(考え、議論する道徳)の実現に向けて、小・中学校が共通した学習指導や評価の工夫を行えば、児童生徒の道徳性を養うことにつながるであろう。
- (2) 体験活動を基にして、自己や他者を見つめ、ともに学び合う道徳教育を小・中学校が連携して行えば、児童生徒一人一人のよりよい生き方につなげることができるであろう。

### 【視点1】学習過程や指導方法等の工夫

- ①「考え、議論する道徳」の実践(ハートつながりタイムの充実)
- ②思考ツール等の活用
- ③全職員による道徳科の授業実践 ※中学校のみ(ローテーション授業)

### 【視点2】一人一人の良さを伸ばし、成長を促すための評価の在り方

- ①児童生徒の変容が確認できるワークシート
- ②授業改善に生かす参観シート

### 【視点3】体験活動等を基にした道徳教育の在り方(カリキュラム・マネジメント)

- ①体験活動等を基にしたカリキュラム・マネジメント表
- ②道徳科を中心とした道徳教育に関する掲示物

### 【津奈木町小・中学校連携推進プロジェクト】

学力向上プロジェクト

心の教育プロジェクト

○授業づくり部会 ○評価部会 ○環境部会

体験活動プロジェクト

【視点1】学習過程や指導方法等の工夫

「体験活動等とつなげた導入・終末の工夫」を行い、「考え、議論する道徳」となる場（ハートつなぎタイム）を設定した授業を「つなぎスタイル」とする。

○つなぎスタイル 道徳科の授業

学習過程	つなぎスタイル	学習活動及び指導上の留意事項 (○:教師の発問、◇:児童生徒の反応)				
導入	<p>○学習内容と自分をつなぎ、自分事として考える動機付けのための工夫をする。</p> <p><b>共通の体験活動等を基に、教材と自分をつなぐ。</b></p> <p>○児童生徒が問題意識や問いをもつための手立て</p> <p>【めあての設定】</p>	<p>1. 本時の学習課題を知る。</p> <p>(ICT①) 学習内容を自分事として考えるための効果的な活用方法 ○体験活動等の写真 ○児童生徒の実態アンケート</p> <p>【手立て①】(例)「△△についてどう思う？」</p>				
展開	<p>教材を読む際、登場人物の行動や思いに着目させるなど、読む視点を明確にする。</p> <p><b>ハートつなぎタイム</b></p> <p>○めあてに迫るための手立てとなる問いかけ</p> <table border="1" data-bbox="215 1075 726 1288"> <tr> <td>【共感的】 ・～はどんな気持ちか、考えか。</td> <td>【分析】 ・～がしたいのはなぜか。～からわかること。</td> </tr> <tr> <td>【投影的】 ・自分が～だったら。～になったらどうする。</td> <td>【批判的】 ・～のことをどう思うか。～は本当に～してよいか。</td> </tr> </table> <p>【ハートつなぎタイムのポイント】 ○自分の考えを明確にする。 【表現方法】ハート図、心情メーターマトリックス等</p> <p>○中心発問について考える活動</p> <p><b>【主な手法】</b> ○役割演技:登場人物の思いを演じる。 ○動作化:登場人物の動きや言葉を真似る。 ○ツールを使った話し合い:児童生徒相互の考えや立場を明確にする。 ○ペアやグループでの交流:全員が自分の考えや思いを伝える。</p> <p>○道徳的価値を自分のものにするための発問</p> <p><b>学んだことをこれからの生活につなぐ。</b></p>	【共感的】 ・～はどんな気持ちか、考えか。	【分析】 ・～がしたいのはなぜか。～からわかること。	【投影的】 ・自分が～だったら。～になったらどうする。	【批判的】 ・～のことをどう思うか。～は本当に～してよいか。	<p>2. 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>(1) 教材を読み、登場人物の行動や思いを確認する。 ○「□□が出てくるから、□□の気持ちを考えながら聞いてください。」</p> <p>(2) 中心発問を考える活動 ○「あなたなら、△△についてどうしますか？」 ◇「□□だと思う。理由は…(自分の体験などを根拠にして書かせる。)</p> <p>(ICT②) 自分の考えや思いを伝えるための効果的な活用方法 ○ハート図 ○心情円盤 ○心情メーター ○マトリックス ○ネームカード</p> <p><b>コーディネーター名人になるために</b> ○意図的指名 ○相づち「へえー、～って言いたいんだよね」 ○他の人に広げる「同じ考えの人はどう思う？」 ○問い返し「どうしてそう思ったの？理由を教えて」 ○オーバーリアクション「そんな経験があるの？」</p> <p>【手立て②】(例)「△△ってどう?」「△△だろうか?」</p>
【共感的】 ・～はどんな気持ちか、考えか。	【分析】 ・～がしたいのはなぜか。～からわかること。					
【投影的】 ・自分が～だったら。～になったらどうする。	【批判的】 ・～のことをどう思うか。～は本当に～してよいか。					
終末	<p>○振り返りの視点</p> <p>①「今までは…」→②「今日学習して…」 →③「これからは…」</p>	<p>3. 学習を振り返る。 ○体験活動とつなげて自己の振り返りをする。</p> <p>(ICT③) 余韻をもたせた終末となるための効果的な活用方法 ○GTからのメッセージ動画 ○体験中の動画など</p>				

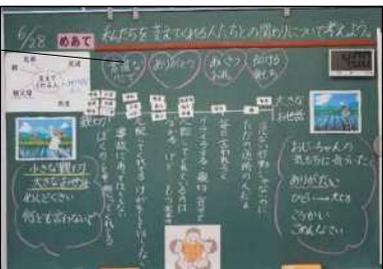
【視点1】学習過程や指導方法等の工夫

①「考え、議論する道徳」の実践(ハートつなぎタイムの充実)

授業展開例(小学5年)

【主題名】善意に応える 【教材名】「おじいさんのあたたかな目」  
【内容項目】B(8)感謝

【ねらい】「自分を支えてくださる人たちに応えていく」ということはどういうことかについて考え、話し合う活動を通して、善意に応えていこうとする態度を養う。

学習過程	つなぎスタイル	学習活動及び指導上の留意事項 (◎:中心発問、○:教師の発問、◇:児童の反応)
導入	<p>○学習内容と自分をつなぐ動機づけをする。</p> <p>普段、地域の方から行ってもらっている写真などを提示する。</p> <p>【手立て①】児童が問題意識や問いをもつための手立て。</p> <p>【めあて】私たちが支えてくれる人との関わりについて考えよう。</p>	<p>1. 本時の学習課題を知る。</p> <p>○どんな人たちに支えられて、どんなことをしてもらっているのかな。</p> <p>◇学校に来るときに、地域の人と一緒に来てくれている。</p> <p>私たちが支えてくれる人って、ここに出ている人だけかな?</p> 
展開	<p>教材を聞く際に、ぼくとおじいさんに着目して読むように伝え、本時で考えたことに迫れるようにする。(教材を読む視点の明確化)</p> <p>思考ツール(心情メーター)を使って、児童の考えを明確にする。</p> <p>思考ツールを基に、視点をもって友達の意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりする。</p> <p>【手立て②】道徳的価値を自分のものにするための発問。</p> <p>「道徳的価値」について考えたことをハートで囲み、めあての下に板書することで、学んだことを視覚的にも意識させる。(板書の工夫)</p>  	<p>2. 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>(1) 登場人物の気持ちや考えについて話し合う。</p> <p>○おじいさんの言葉を無視した時のぼくは、どんな気持ちだっただろう。</p> <p>◇毎日うるさいなあ。◇小さな親切大きなお世話だと思った。</p> <p>○ぼくのように「小さな親切大きなお世話」と感じたことがあるかな。</p> <p>◇大人に言われると、いちいち面倒くさいなああって思うことがある。</p> <p>◎おじいさんの声かけは、親切なのかな。大きなお世話なのかな。</p> <p>◇大きなお世話だと思う。</p> <p>◇必要だと思うけれど、いちいちうるさいなあと感じてしまうことがある。</p> <p>◇ぼくのことを心配してくれているので、親切であっても大きなお世話ではないと思う。</p> <p>私たちが支えてくれる地域の人たちっている?</p> <p>○支えてくれる人たちにどんな気持ち(思い)で接したいかな。</p> <p>◇思い当たる人がいるので、今度あったときは、あいさつをしたい。</p> <p>◇素直な気持ちで受け止めて、ありがとうの気持ちをもちたい。</p> 
終末	<p>①「今までは…」→②「今日学習して…」→③「これからは…」(振り返りの視点)</p> <p>メッセージ動画を使って、余韻をもたせた終末とする。</p> 	<p>3. 学習を振り返る。</p> <p>(1) 学習の振り返りを書く。</p> <p>○学習の振り返りを書こう。</p> <p>◇親切にされているなどは思っていたけれど、感謝の気持ちはもっていなかったから。これからは、親切にされていることに感謝の気持ちをもちたい。</p> <p>(2) GTからのメッセージ動画を視聴する。</p> <p>○日頃、見守りをされているからのインタビュー動画を視聴しよう。</p>

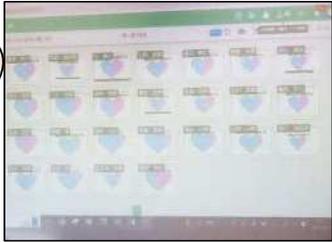
【視点1】学習過程や指導方法等の工夫

②思考ツール等の活用

授業展開例(中学1年)

【主題名】その人が本当に望んでいること 【教材名】「思いやりの日々」  
【内容項目】B(6) 思いやり, 感謝

【ねらい】主人公の行動に対する妻の気持ちを考え、本当の思いやりについて話し合うことを通して、互いに尊重して生活しようとする態度を養う。

学習過程	つなぎスタイル	学習活動及び指導上の留意事項 (◎:中心発問、○:教師の発問、◇:生徒の反応)
導入	<p>○学習内容と自分をつなぐ動機づけをする。</p> <p>本時の内容に関する事前アンケート結果を提示する。</p> <p>【手立て①】児童が問題意識や問いをもつための手立て。</p> <p>【めあて】本当の思いやりについて考えよう。</p>	<p>1. 本時の学習課題を知る。</p> <p>○思いやりとはどのようなことかな。</p> <p>◇困っている人を見かけならば、助ける。</p> <p>「人を助ける」ことは、本当に思いやりのある行動といえるのかな？</p>
展開	<p>教材を聞く際に、和威さんと喜美世さんに着目して読むように伝え、本時で考えたことに迫れるようにする。 (教材を読む視点の明確化)</p> <p>思考ツール(ハート図)を使って、児童の考えを明確にする。</p> <p>ハートつなぎタイム</p>  <p>それぞれの意見をタブレットを使って共有閲覧し、活発な意見交換ができるようにする。</p> <p>【手立て②】道徳的価値を自分のものにするための発問。</p> <p>①「今までは…」→②「今日学習して…」→③「これからは…」 (振り返りの視点)</p> 	<p>2. 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>(1) 登場人物の気持ちや考えについて話し合う。</p> <p>○和威さんは喜代美世さんに何でもしてあげたいと思ったのはどうしてだろう。</p> <p>◇支えたいと思ったから。</p> <p>◇きつい思いをしてほしくないから。</p> <p>◇これまでお世話になったので、恩返しをしたい。</p> <p>◎「僕が全部やるから。」と断った和威さんに対して、喜美世さんはどんな気持ちだったのだろうか。</p> <p>◇自分のことを思っていてくれてうれしい。</p> <p>◇自分のことを思ってくれたのだろうけども、本当は自分も一緒に手伝いたかったのに…</p> 
終末	<p>【手立て②】道徳的価値を自分のものにするための発問。</p> <p>①「今までは…」→②「今日学習して…」→③「これからは…」 (振り返りの視点)</p> 	<p>喜美世さんは、全てしてもらおうことを望んでいたと思う？</p> <p>○本当の思いやりとは、どのようなことなのだろうか。</p> <p>◇相手が何を望んでいるかを考える。</p> <p>◇何でも手伝うことは、思いやりとは言えない。</p> <p>3. 学習を振り返る。</p> <p>(1) 学習の振り返りを書く。</p> <p>○学習の振り返りを書こう。</p> <p>◇これまで、何も考えずに手伝ったり、助けたりすることがあったけれど、これからは相手が何を望んでいるかななどを考えて行動していきたい。</p> <p>(2) 教師の説話を聴く。</p> <p>○最後に、先生がこれまで経験したことについて話をする。</p> 





### 【視点3】体験活動等を基にした道徳教育の在り方

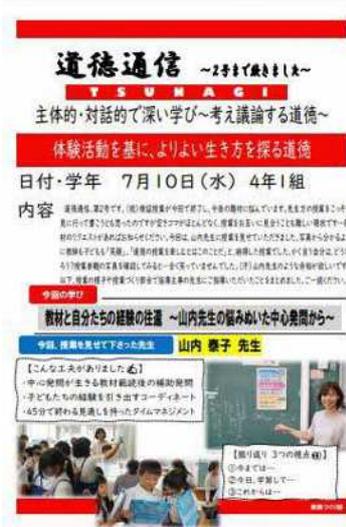
#### ②道徳科を中心とした道徳教育に関する掲示物

【ホームページ「道徳の窓」の開設】



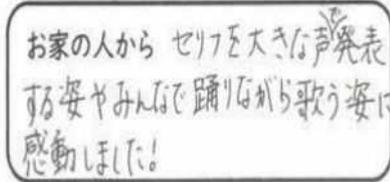
小・中学校が共通して学校のホームページに「道徳の窓」を開設した。日頃の道徳科の授業の様子や研究授業、小中合同研修会などについて掲載している。

【道徳通信の発行】



小学校では、道徳科の研究授業を実施した際、授業づくり部会を中心に、成果と課題をまとめた「道徳通信」を発行している。

【学校行事等における保護者からのメッセージ】



(小学校)



(中学校)

児童生徒の頑張りについて、保護者からのメッセージをもらう。

小学校は行事等で記入させるキャリア・パスポートの一部に保護者からのメッセージ欄を設ける。

中学校は行事等の際、校舎内に電子コードを掲示し、アンケートを実施している。

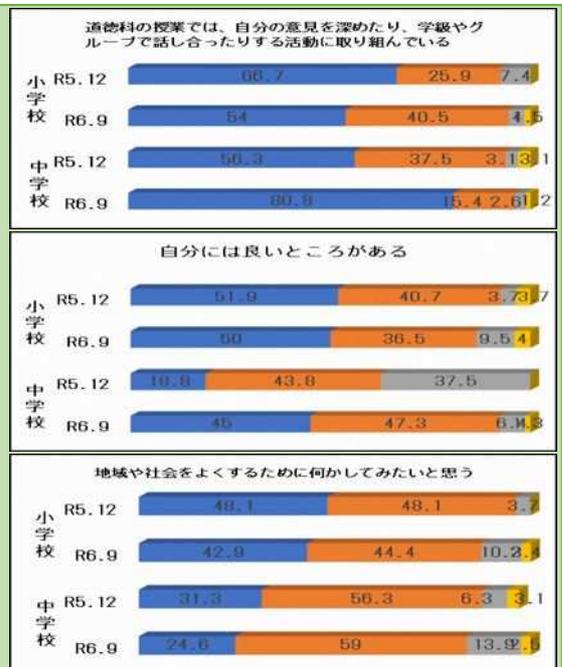
#### 成果と課題【○成果、●課題】

##### 【児童生徒の変容】

○「道徳科の授業では、自分の意見を深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」については、小・中学校ともに、研究前と比較して好意的に答えた児童生徒の割合が増加した。道徳科の授業で、常につなぎスタイルを意識した授業展開を実施してきたことが成果として表れてきている。

○「自分には、良いところがあると思う」について、「そう思う」と答えた割合が、小学校では若干減少したが、中学校では、大幅に増加し、好意的に答えた生徒の割合は9割を上回った。

●「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」について、小・中学校ともに、「そう思う」と答えた児童生徒の割合が昨年度よりも減少した。道徳科の授業に体験活動等を取り入れて行う「つなぎスタイル」を実施してきたが、成果として表れるまでにはもう少し時間が必要である。今後は、取り扱う内容について再度検討し、研究を深めていく必要がある。



##### 【授業について】

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

○導入や終末に体験活動等を取り入れた授業展開（つなぎスタイル）を実施したことで、児童生徒が教材を自分事として考える姿が見られるようになり、活発な意見交換が行われるようになった。

○中学校では、ローテーション授業を取り入れたことで、教師一人一人の道徳科に対する意識や授業力向上につながった。

●「考え、議論する道徳」の実現に向けて2年間研究を進めてきたが、成果として表れるまでには、時期尚早であると考える。今後も、引き続き、「つなぎスタイル」を中心に研究を進めていく必要がある。